

平成 25 年度 事業報告

1 調査研究事業

(1) 調査研究活動

① 身近な里山林等における体験活動事例に関する調査

(助成者) (公社)国土緑化推進機構

(期 間) 平成 24 年 7 月～平成 25 年 6 月

(概 要) 身近な里山等における多様な体験活動事例について調査、検討等を行い、その目的や進め方、安全対策等を簡便に取りまとめ、これらの活動を広く紹介し普及するためのアクティビティ集を作成。

② 幼児等を対象とする森林体験活動に関する調査

(助成者) (公社)国土緑化推進機構

(期 間) 平成 25 年 7 月～平成 26 年 6 月

(概 要) 幼稚園児や保育園児等を対象とする森林内における体験活動について資料収集、調査等を実施。

(2) 参考図書の発行・普及

新しく「みぢかな里山のアクティビティ集—学ぶ・あそぶ・育てる体験活動マニュアル—」を刊行するとともに、既刊の「なつかしの野外活動アクティビティ集—森あそび・野あそび—」、「森林・林業体験の基礎」、「森林環境教育の手引き」、「森林体験活動指導者のための安全管理ハンドブック」、「林業・山村から学ぶ続森林環境教育アクティビティ集」、「絵で見るもりのマナーと安全」等の普及に努めた。

2 普及啓発事業

(1) 機関誌（情報誌）の発行等

機関誌（情報誌）「森林レクリエーション」を毎月発行し、会員をはじめ関係機関等に配布（No.311(2013年4月)～No.322(2014年3月)）。

また、森林のレクリエーション利用等に関する各種情報（関連情報）の収集・配布を行うとともに、ホームページ（URL：<http://www.shinrinreku.jp>）の適時の更新・充実に努めた。

(機関誌（情報誌）の主な掲載情報)

- ① 森林レクリエーション活動に関する情報
 - 南アフリカの花と動物（Ⅰ、Ⅱ）（No. 311、312）
 - 田沢湖高原でスキー教室と自然観察会を開催（秋田支部）（No. 312）
 - マウンテンバイクと森林利用一片品村でのMTBフィールド普及活動—
(No. 319)
 - わが社：南魚沼の個性豊かな我がスキー場（(株)プリンスホテル）
(No. 322)
- ② 森林環境教育・健康等に関する情報
 - 一般社団法人日本森林インストラクター協会が誕生しました（No. 311）
 - 森林インストラクターの活動(9、10、11)（(No. 311、314、315)）
 - 森林環境教育を再考する（Ⅰ、Ⅱ）（No. 313、315）
 - NPO 法人森林(もり)をつくろうの活動（No. 313）
 - 第25回森林レクリエーション地域美化活動コンクール受賞団体の活動
(No. 316、317、318、319)
 - 森林療法の最新トピックス(その1、その2、その3)（No. 317、318、319）
 - 「森あそびカルタ」を作成しました（No. 321）
- ③ 森林を活用した地域振興等に関する情報
 - わがまち：小さくても元気で美しい村をめざして（高知県馬路村）
(No. 301)
 - わがまち：木曾川上下流の循環型経済の発展を目指して（長野県木祖村）
(No. 314)
 - わがまち：日本一大きな町の地域資源を活用したまちづくり（北海道足寄町）（No. 316）

- わがまち：尾瀬の郷・片品村—小さくても輝く村をめざして—（群馬県片品村）（No. 318）
- ローカルデザインと地域振興（その1、その2）（No. 321、322）
- ④ 森林・林業に関する行政等の情報
 - 里山林の保全管理や資源利用をする活動を応援します—森林・山村の多面的機能発揮対策—（No. 314）
 - マダニに咬まれないように注意しましょう（No. 315）
 - 木材利用ポイント事業について（No. 315）
 - 外国資本による森林買収に関する調査の結果について（No. 315）
 - 平成24年度森林・林業白書の公表（No. 315）
 - 国有林野の活用について（No. 316）
 - 「学校林・遊々の森」全国子どもサミット in 北海道の開催（No. 317）
 - 「戸隠森林植物園」オフィシャルサポーター協定を締結（No. 317）
 - 「国立公園に関する世論調査」の調査結果について（No. 320）
 - 平成26年度林野庁関係予算（概算決定）から「森林・山村多面的機能発揮総合対策」（No. 321）
 - 山村の活性化を目指して（平成24年度森林・林業白書から）（No. 321）
- ⑤ 当協会に関する情報
 - 第25回森林レクリエーション地域美化活動コンクール受賞団体の決定・プロフィール（No. 312、313）
 - 第29回通常総会の開催（No. 314）
 - 平成25年度森林インストラクター資格試験合格者の発表（No. 320）
 - 平成26年度森林インストラクター「資格試験」・「養成講習」の日程等（No. 321）
 - 第27回森林レクリエーション全国研修会の開催（No. 322）

(2) 第26回森林レクリエーション地域美化活動コンクールの実施

都道府県や森林管理局、当協会支部を通じて、森林レクリエーション地域において積極的に美化活動を行っている学校、地域グループ、職場グループ等のボランティア団体等を公募（締め切りは平成26年2月末日）。

応募総数37団体（都道府県推薦18団体・森林管理局推薦19団体）について審査委員会による審査の結果、次の受賞団体を決定。

- 農林水産大臣賞（1点）
なか・やちよの森公園運営協議会（兵庫県多可町）
- 林野庁長官賞（2点）
小泉山体験の森創造委員会（長野県茅野市）
特定非営利活動法人恵那山みどりの会（岐阜県中津川市）
- 協会会長賞（5点）
安比高原ふるさと倶楽部（岩手県八幡平市）
アルカディアの会（千葉県匝瑳市）
夢見平遊歩道を守る会（新潟県妙高市）
夜叉ヶ池パトロール員の会（福井県南越前町）
特定非営利活動法人あいな里山茅茸同人（兵庫県神戸市）
- 奨励賞（8点）
ユウパニコザクラの会（北海道夕張市）
特定非営利活動法人いやしの郷北境（宮城県蔵王町）
特定非営利活動法人いわきの森に親しむ会（福島県いわき市）
水戸森林クラブ（茨城県ひたちなか市）
中之条町立六合中学校（群馬県中之条町）
古戸ひじり会（愛知県東栄町）
宝塚自然休養林保護管理協議会（兵庫県宝塚市）
山のボランティア Network（愛媛県西条市）

(3) 第27回森林レクリエーション全国研修会の開催

テーマ 「世界自然遺産、屋久島にひろがるレクリエーションの森
—世界自然遺産登録20周年を記念して—」

開催時期 平成25年11月26日(火)～28日(木)

開催場所 鹿児島県屋久島町

参加人員 24人

研修内容 屋久島自然休養林等の視察等

(4) 森林環境教育ネットワーク事業

平成19～21年度に実施した森林環境教育推進総合対策事業（林野庁補助

事業) の実施結果を受けて、引き続き森林環境教育の推進に資するため、活動団体等のネットワーク化を図るためのウェブサイトの運営、メールマガジンの配信、パンフレットの配布等の普及啓発活動を実施。

- ① ウェブサイト「森で学ぼう！森林環境教育ネットワーク」の運営
URL : <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>
- ② メールマガジンの配信 (平成 25 年度末会員登録数 : 1,096)
第 101 号(平成 25 年 4 月 5 日)～第 117 号(平成 26 年 3 月 15 日)
- ③ パンフレット「森林環境教育のすすめ」等の配布

(5) 子ども樹木博士認定活動への支援

子ども樹木博士認定活動の目的等を P R するとともに、情報交流等により本活動を全国的に推進する「子ども樹木博士認定活動推進協議会」の事務局として、①機関誌「子ども樹木博士ニュース」の発行(4 回)、②実施機関や活動計画等の登録、③子ども樹木博士認定証や「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の提供、④インストラクターの紹介等の活動を実施。

(6) 「森林共生フォーラム」の活動への支援

森林と人との共生に関する総合的な調査研究、情報の収集・提供、研修会等を行う「森林共生フォーラム」の事務局として、研究会(4 回)や現地研修会(1 回)の開催等の活動を実施。

森林共生フォーラム：平成 25 年度の活動状況

研究会等の開催	テ ー マ ・ 講 師 等
<p>第 1 回研究会 (3 月 4 日)</p>	<p>「国有林野事業の現状と今後の展開方向」 講師 林野庁国有林野部 経営企画課長 川端 省三 氏</p>
<p>第 2 回研究会 (6 月 17 日)</p>	<p>①「国有林野の活用について」 講師 林野庁国有林野部業務課 国有林野管理室 課長補佐（地域振興・分収林班担当） 田原 正純 氏 ②「丹沢の自然再生—市民と行政の協働 10 年間—」 講師 丹沢自然再生委員会 委員長 木平 勇吉 氏 (東京農工大学 名誉教授)</p>
<p>第 3 回研究会 (8 月 26 日)</p>	<p>①「明治神宮の森は本当に自然林か —目的にあわせた多様な森づくりを目ざして—」 講師 宇都宮大学 名誉教授 谷本 丈夫 氏 ②「新しい国有林の姿について」 講師 (一社)全国森林レクリエーション協会 理事長 伴 次雄 氏</p>
<p>現地研修会 (11 月 26～28 日)</p>	<p>開催場所 鹿児島県屋久島町：屋久島自然休養林等 (協会の全国研修会に併せて開催)</p>
<p>第 4 回研究会 (12 月 18 日)</p>	<p>①「森との共生のモニュメント 日本の治山 60 選」 講師 ジャーナリスト 米倉 久邦 氏 ②「森林農地整備センターのあゆみ」 講師 (独)森林総合研究所森林農地整備センター 森林業務部長 金山 誠 氏</p>

3 森林インストラクター等人材育成事業

(1) 森林インストラクター養成講習の実施

森林インストラクターの審査を受けようとする者の知識や技能の水準の向上を図るため、「森林」、「林業」、「森林内の野外活動」及び「安全及び教育」の全4科目について講習を実施。講習修了者は、申請により「森林活動ガイド」として登録。

平成25年度の実施状況は次のとおり。

- ① 養成講習の公募案内の開始（平成25年2月1日）
- ② 養成講習受講者の募集開始（平成25年4月1日）
- ③ 養成講習の実施

区分	科目	期間	日数	場所	受講者数
講習Ⅰ (科目別講習)	森林	5.18～5.20	3	東京都文京区 林野会館	95人
	野外活動等	6.15～6.17	3		83人
	林業	6.29～6.30	2		107人
講習Ⅱ (全科目講習)	4科目	8.10～8.17	8		61人

(2) 森林活動ガイド養成事業

自然体験活動の指導者の確保が求められている中で、森林体験活動の指導者・パートナーである「森林活動ガイド」を養成。森林インストラクターの養成講習に併せた講習会を実施。

○ 森林インストラクター養成講習に併せた講習会

森林インストラクター養成講習において森林活動ガイド養成講習の内容を盛り込んで実施。

- ① 平成25年5月18日～6月30日（うち8日間） 受講者数 68人
- ② 平成25年8月10日～17日 受講者数 61人

4 平成 25 年度森林インストラクター資格認定事業

受験申込者数は 479 人（前年度 532 人）、合格者数は 104 人（同 127 人）で、平成 3 年度からの合格者数の累計は 3,763 人。合格者は、登録により「森林インストラクター」の称号を付与。

平成 25 年度の実施状況は次のとおり。

- ① 資格試験の公募案内の開始（平成 25 年 2 月 1 日）
- ② 資格試験受験者の募集開始（平成 25 年 6 月 1 日）
- ③ 一次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	申込者数
9 月 15 日	札幌市	北海道経済センター	16 人
	東京都	青山学院大学	281 人
	名古屋市	東海工業専門学校金山校	37 人
	大阪市	大阪府私学教育文化会館	99 人
	高知市	高知城ホール	12 人
	福岡市	電気ビル本館	31 人

- ④ 二次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	受験者数
11 月 16～17 日	東京都	林野会館	108 人

- ⑤ 合格者の審査・決定（平成 25 年 12 月 3 日）
- ⑥ 合格者の公表・登録開始（平成 25 年 12 月 6 日）

5 支部総会等の開催

支部総会・研修会等の開催状況

支部名等	開催日	開催地等	本部出席者
道 央	25年11月22日	札幌市	伴理事長
旭 川	25年6月12日	旭川市	伴理事長
函 館	25年8月5日	函館市	伴理事長
青 森 (研修会)	25年10月3～4日	宮城県蔵王町	
秋 田 (研修会)	25年10月3～4日	宮城県蔵王町	
前 橋	25年8月27日	前橋市	伴理事長
東 京	25年7月11日	東京都江東区	伴理事長
長 野	25年7月2日	長野市	
四 国	26年3月4日	高知市	伴理事長
賛助会員 研修会等	25年3月4日等	東京（森林共生フォーラム「研究会」への参加等）	

(注) 青森支部と秋田支部の研修会は合同で開催

6 陳情・要請等の活動

支部を通じた要望事項や会員等からの照会事項について、林野庁等関係機関へ要請・照会等を実施。

7 会員組織の状況

(1) 平成25年度における会員数の異動状況

区 分	平成24年度末	入 会	退 会 等	平成25年度末
会 員	247	-	8	239
賛助会員	18	-	-	18
合 計	265	-	8	257

(注) 退会等には、事業の休止等に伴う減(1)を含む。